

長野陸協は、長野県の陸上競技会を統轄し、代表する団体として、長野県の陸上競技の普及と振興、並びに競技力向上を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するという、定款に掲げられた目的を達成するため、定款に沿って各種事業を遂行する。また、6年後に迫った2028年国民スポーツ大会(以下、国スポと省略する)に向けた活動を4つのプロジェクトを推進する。

- (1)陸上競技の普及に関すること。
- (2)陸上競技選手の強化・育成に関すること、及び長野県の代表選手を選定し派遣すること。これらについては、6年後に迫った国体の開催に合わせプロジェクトを活性化させ、中身を充実させる。
- (3)長野県における陸上競技の大会及び記録会を開催すること。事故を未然に防ぐとともに熱中症等の予防に努める。各大会1名の医師を配置できるようにする。ここ数年における、Athlete(競技者)、Spectator(観客) and Referee(審判員) Friendlyの視点を尊重し、会場が一体となって競技会を盛り上げ、パフォーマンスの向上に結びつける運営を心掛けるとともに、審判員が競技者や観客から疑義を持たれないような言動をとるように徹底する。また、駅伝等道路競技に関する、主催・主管の整理・検討を行う。県縦断駅伝存続に向けた改革を進める。
- (4)陸上競技の指導者を養成すること。日本スポーツ協会・日本陸連公認コーチ取得へ4名を派遣する。同ジュニアコーチの取得者増加に向けて、今年度も長野県内で講習会を実施する。また、中学校等の部活動が制限される中、公認指導者の配置等の検討に取り組む。
- (5)陸上競技の審判員及び検定員の資格付与に関すること。2028年国スポに向けた審判員取得者の増加、A級昇格者の増加を目指す。
- (6)陸上競技を研究し、機関紙、刊行物を発行して情報を提供すること。会報、要覧、ホームページ等とおして、本協会の状況や課題を会員に周知するとともに、会員から各種アイデア等を募る。
- (7)その他
 - 1) 本年度は改選期に向けて、これまでの組織・運営方法および理事選出方法等について規程ど

おり進める。

- 2) 一般財団法人向けガバナンスコードに適應できる定款の修正、組織の構成を見直すとともに、効率的な協会運営と事務局の在り方等について検討・審議を活発にし、より強固な組織化を試みる。
- 3) 競技会での事故防止、競技運営に関する長野陸協共通マニュアルを作成する。
- 4) 競技会における業務効率化について、IoT等の活用を含め検討し、可能な面から改善を図る。
- 5) 審判員の増加について検討する。
- 6) 年間広告協賛や賛助会員の募集をさらにすすめる。
- 7) 強化費配分、コーチ連携、クラブチームへの援助(強化費配分)など対策を練る。
- 8) 普及強化委員会の内部組織について、種目毎の組織化や年齢区分(U20、U18、U16、U13)による組織化と相互の連携を検討する。
- 9) 小学生の登録制度を運用し、練習会や各種事業への参加単位を、小学校からクラブへ移行し陸上競技に取り組みたい小学生を増加させる。
- 10) 広報委員会の復活等を含めた広報体制の充実を図る。
- 11) トランスジェンダーへの理解と対応について

【重点項目】

1. 女性役員の増加、活躍のための施策の充実、定款・各種規程の見直し
2. 競技会における事故防止対策の徹底と“3つのFriendly”の具現
3. 2023年改選に向けて事務局を充実するための協会財政の安定化。
4. 新競技場の実施設計に向けた意見集約、現競技場解体に伴う諸作業の準備、遂行。
5. 2028国民スポーツ大会に向けた指導者養成、競技者強化及び審判員体制の準備。
6. 栃木国体及び全国都道府県対抗駅伝他派遣大会の目標達成。そのための対策を充実させる。
7. 松本閉場記念大会(6/25-26)『Last run 閉場記念 第75回長野県陸上競技選手権大会』の開催。